

府中市郷土の森博物館 企画展

江戸時代の冠婚葬祭

～誕生から供養まで～

2026年4月

府中市郷土の森博物館
〒183-0026 府中市南町6-32

江戸時代の府中でおこなわれていた冠婚葬祭 家にとって 地域にとって どんな意味があったのか？

冠婚葬祭と聞いて、みなさんはどんなものを思い浮かべるでしょうか。この言葉はもともと、4つの重要な儀礼である、冠＝元服、婚＝婚礼、葬＝葬式、祭＝供養を表す言葉でした。しかし近年では人の誕生から死後の供養までに行われる節目の行事全体を指す、広い意味を持つようになっていきます。そのためこの展示では、誕生から元服にいたるまでの儀礼も含んで取り扱います。

市内住吉町の旧家である内藤治右衛門家^{しえもん}には、江戸時代に行われていた、誕生から供養にいたるまでの儀礼に関する資料が多く残されています。本展示では、この旧家の資料から、当時の冠婚葬祭について紹介します。人びとが冠婚葬祭にどういった想いを込めて、どのようなことをしていたのか探ってみましょう。

会期：2026年4月18日（土）～7月5日（日）

休館日：月曜日（5/4をのぞく）、5/7（木）

会場：博物館本館 2階 企画展示室

観覧料：博物館入場料でご覧いただけます（大人300円、中学生以下150円、4歳未満無料）

主催：府中市郷土の森博物館運営グループ（公益財団法人府中文化振興財団・株式会社五藤光学研究所）

展示構成：はじめに 江戸時代の冠婚葬祭／第一章 冠～成長を祝う～／第二章 婚～家と家のむすびつき～／第三章 葬～故人を弔う～／第四章 祭～故人の成仏と一族の繁栄～／コラム1 長生きすると…／コラム2 冠婚葬祭でつかわれた食器／おわりに 冠婚葬祭にこめる想い

H P： <https://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/tenji/1000074/1007899.html>

この件のお問合せは下記へお願いいたします
学芸係広報担当
TEL 042-368-7921 FAX 042-360-8217
Eメール kyodo-no-mori@msi.biglobe.ne.jp

次頁へ続きます



目録

- 一 浄土代 金拾兩
- 一 家内赤梅 壹荷
- 一 比 魯免 二把
- 一 膳 胃婦志 壹連
- 一 奇 苗 廿 貳連
- 一 志 良 貳 二束

以上

右 通箋 公 教目
出 及 沙 祝 納 可 被
下 作

江戸時代後期の結納目録（部分）

回忌供養の際に死者を追悼した和歌